自立語と付属語

単語は、単独で文節を作ることができるかどうかで、自立語と付属語に分けられる。

・**自立語**…単独で文節を作ることができる単語。
・**付属語**…単独では文節を作ることができず、自立語と共に使われる単語。

自立語は各文節に**一つだけ**含(ふく)まれる。文節の初めの単語は必ず自立語である。付属語は文節に含まれないこともあり、また、複数含まれることもある。

(例) 赤い(自)／花(自)が(付)／咲き(自)まし(付)た(付)。

活用

文中での言葉の組み合わせに応じて単語の形が変化することを**活用**という。自立語では動詞・形容詞・形容動詞が、付属語では助動詞が活用する。

(例) 話す＋た　→　話した
明るい＋た　→　明るかった
静かだ＋た　→　静かだった
走ります＋た　→　走りました

品詞

単語を分類したものを**品詞**という。単語は10種類の品詞に分けられる。

- 単語
  - **自立語**
    - 活用する
      - 述語になる(用言)
        - 動作・作用・存在を表す・終止形が「ウ段」で終わる — **動詞**
        - 状態・性質を表す
          - 終止形が「い」で終わる — **形容詞**
          - 終止形が「だ・です」で終わる — **形容動詞**
    - 活用しない
      - 主語になる(体言) — 物事の名前を表す・物事を指し示す — **名詞**
      - 修飾語になる
        - 主に用言を修飾する — **副詞**
        - 常に体言を修飾する — **連体詞**
      - 接続語になる — **接続詞**
      - 独立語になる — **感動詞**
  - **付属語**
    - 活用する — **助動詞**
    - 活用しない — **助詞**

ある品詞の単語が変化して、他の品詞の単語になることもあり、これを**品詞の転成**という。

(例) 動詞「動く」　→　名詞「動き」
形容詞「重い」　→　名詞「重さ・重み」
形容詞「楽しい」　→　動詞「楽しむ」

確認テスト

(1) 例に従って、次の文の自立語を□で囲み、付属語に——線を引きなさい。

（例）［赤い］［花］が［咲き］ました。

私は友達と駅まで走った。

(2) 次の表の①〜④に当てはまるものを、**ア**〜**コ**からそれぞれ全て選び、記号で答えなさい。

	活用する	活用しない
自立語	①	②
付属語	③	④

ア 感動詞　**イ** 形容詞　**ウ** 形容動詞　**エ** 助詞
オ 助動詞　**カ** 接続詞　**キ** 動詞　**ク** 副詞
ケ 名詞　**コ** 連体詞

①〔　　〕
②〔　　〕
③〔　　〕
④〔　　〕

(3) 次の文の（　　）に当てはまるように、動詞「学ぶ」の形を変化させなさい。

今日は大切なことを（　　）だ。　〔　　〕

(4) 次の文の（　　）に当てはまるように、形容詞「赤い」の形を変化させなさい。

リンゴがとても（　　）なる。　〔　　〕

(5) 次の文の（　　）に当てはまるように、形容動詞「立派だ」の形を変化させなさい。

彼女（かのじょ）はたいへん（　　）人だ。　〔　　〕